



くみあい総合微量元素肥料

果樹も野菜も **F・T・E** で健全育成

保証成分

マンガン 19.0%

ほう素 9.0%

(含有成分として:鉄2~3%、亜鉛・銅・モリブデン0.05%程度)

果樹や野菜などの作物が健全に育つためには少量ですが絶対に欠かせない6つの微量元素があります。それはマンガン、ほう素、鉄、亜鉛、銅、モリブデンで、これらは作物の生育期間中たえず必要です。

F・T・Eには6つの微量元素が含まれており、しかもく溶性ですから過剰害の心配もなく作物の生育期間中つねに補給されます。

マンガンが欠乏すると

1. 葉が淡黄色あるいは褐色に変わる
2. 葉脈をのこし縞または斑状に黄化する
3. 上葉や先端葉から変色する
4. 糖が少なく、品質が悪くなる

ほう素が欠乏すると

1. 生長点が侵され生長が止まる
2. 葉肉は厚くなる
3. 葉柄、茎などに割れ目ができ黒褐色に変わり、もろくなる
4. 根の生育が極端に悪くなる
5. 開花が悪く実が落ちやすくなる
6. 不稔現象、縮果症、エビ病、心腐れなど

鉄が欠乏すると

1. 葉脈間が黄化または白化する
2. 若い葉から症状が現れる
3. 生育が全体に悪くなる
4. 葉緑素の生成が阻害される

亜鉛が欠乏すると

1. 葉が萎縮し小形または奇形になる
2. 節間が短く、枝の伸長が止まる
3. 葉は葉脈を残し鮮明に黄化する
4. 花止まりが悪くなる
5. 若い葉から黄化する

銅が欠乏すると

1. 若い葉の先がしおれる
2. 茎葉が軟化する
3. 水分が十分にあってもしおれた状態を呈する
4. 不稔や果皮の壊死が起る

モリブデンが欠乏すると

1. 葉がコップ状に巻き、葉緑黄化
2. 葉脈間が斑点状に黄化または枯死
3. 大根などでは細胞が死んで「ス」が入る
4. 比較的古い葉から症状が現れる
5. 葉巾が狭く萎縮する
6. 豆類では根粒菌の着生が少なくなる

供給:  JAグループ

製造:  TOMATEC 株式会社

くみあい総合微量元素肥料

F·T·E®

Fritted Trace Elements

症状が現れない欠乏症(潜在的欠乏)もあります。

微量元素の欠乏は各地で起こっていますが、実際には欠乏に気づかずに見過ごしていたり、どの要素の欠乏か判断が困難で対策に困っている人が多いのです。それは欠乏症が外観に現れず生育を阻害している場合がある事や、単一成分の欠乏ではなく2つ以上が重なって起こっていることがあるからです。

総合微量元素肥料 F・T・E には、6つの微量元素が含まれており、三要素肥料と共に毎年 F・T・E を施すことで作物を健全に育てます。

● 使い方 標準施肥量は、10アールあたり 4～6 kg (年間)です。

施肥量が少ないので、他の肥料か土と混合してから散布すると均一に散布しやすくなります。施用時期が遅れるほど効果が下がるので、基肥として三要素肥料と一緒に施用して下さい。また、ほぼ一年間で消費されますので毎年施用して下さい。

作物名	施用量
かぼちゃ・かんしょ・きゅうり・さといも・すいか・だいこん・てん菜・トマト・なす・にんじん・ねぎ・はくさい・ばれいしょ・ブロッコリー・ほうれんそう・メロン・レタス・その他野菜	10アールあたり 4～6 kg (施設栽培では10アールあたり 2～3 kg)
稲・麦類・豆類・茶	
柑橘・りんご・ぶどう・うめ・なし・ももなど果樹類	10アールあたり 4～8 kg
ばら・きく・その他花卉	1平方メートルあたり 4～6 g (施設栽培では1平方メートルあたり 2～3 g)

これは1年間の施肥量ですから毎年1回施用するか、上記の量を年数回に分けて施用して下さい。

● 荷姿 2kg×12袋(1ケース)、20kg紙袋

詳しくは最寄りのJAまでお問い合わせ下さい。